

幡多の太陽

令和2年12月7日 第17号

児童会活動の紹介

児童会活動は、児童会役員が中心となって活動する場合と、4年生以上の児童によって構成される委員会が中心となって活動する場合があります。幡陽小学校には今年度は保健体育委員会、放送委員会、図書委員会の3つの委員会があり、それぞれの委員会は日常の活動を続けています。11月19日は、保健体育委員会が、全校レクとして、ショータイムを企画・運営してくれました。いつもの全校レクとは違い、その人の得意なことを披露してもらいその人のことをさらに知ることができました。歌あり、ダンスあり、〇×クイズありで、楽しい時間を過ごすこともできました。保健体育委員会のみなさん、楽しいひと時をありがとう。そして、準備などご苦勞様でした。



ショータイムを企画・運営してくれた保健体育委員会のメンバーです。



世里奈さんと優希菜さんは姉妹で、学園天国を熱唱してくれました。なかよく家庭でも歌っているんでしょう。



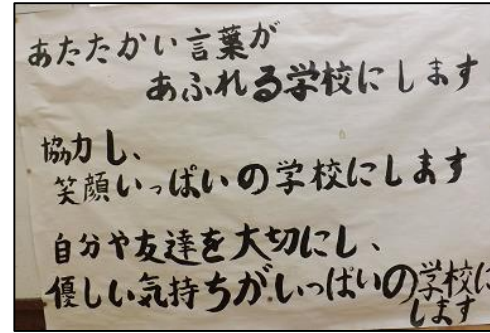
光来さんと光希くんは防災に関する〇×クイズを考え、出題してくれました。



葵さんとこあさんはダンスを披露してくれました。二人で楽しく練習しているんでしょうね。



璃音さん、世里奈さん、優希菜さん、栞奈さん、綾花さんの5人は、NiziUのダンスを披露してくれました。5人でかなり練習したんでしょうね。

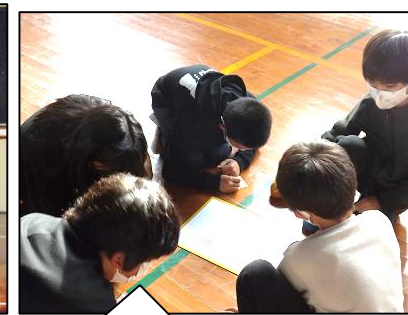


左にある「幡陽っ子宣言」が、玄関の内側に長い間(たぶん4,5年間)掲示されていたのですが、ご存知でしょうか。入り口の上の方に掲示されていたので、気が付かなかった人もいらっしゃると思います。これは、高知県下の小中高の児童会・生徒会の代表が集まり、いじめをなくする取り組みとしてこ

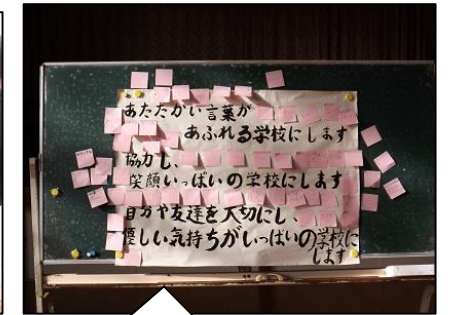
のような宣言を各校で決め、掲示し取り組むこととしました。幡陽小学校も、児童会が中心となり、4,5年前に「幡陽っ子宣言」を作成し、取り組んできたはずですが、しかしながら、面白がって友達のことをからかったり、友達を傷つけてしまう落書きをしたりということが最近ありました。そこで、この「幡陽っ子宣言」をもとに、再度、いじめのない学校にするためにどうしていかなければならないのかを児童総会をもち、児童全員で考えました。たくさん考えを出すことができました。でも、大切なのは、みんなが考えたことを「実行する」ことなのです。「いじめは絶対に許さない」、このことを胸に、いじめをなくす取り組みを継続していきたいと思っています。



児童会役員が、総会の進行をしてくれました。



真剣に考えることができました。



考えをたくさん出すことができました。

コロナ感染症にご注意ください。

12月になり、高知県においても多くの感染者が確認されるようになりました。6月1日から11月25日までに、学校関係者の感染症患者数は、全国では児童生徒3303名、教職員471名という数になっているそうです。高知県も、警戒レベルとなってしまいました。感染経路不明や家庭内感染、飲食に伴う感染等が特徴となっています。各家庭では、十分対策をしていただいていると思いますが、いつ、どこで感染してしまうか分からない状況となっています。更なる予防の徹底をお願いいたします。なお、発熱等の風邪の症状がある場合は、症状がなくなるまで児童を登校させず、自宅での休養をお願いいたします。

